

# 京都・ミスキモノ

京都きもの  
オーディション2020

午前の部



益田舞さん 橋本千奈さん 市川真子さん 森口遥加さん 池田穂乃香さん 北尾有紀さん 前原華さん 松盛千歌さん 小森舞さん 内田早紀さん

3月15日、4人の京都ミスキモノを選出

京都きものオーディション開催委員会（高田〇啓史会長）は3月15日（日）、「2020京都・ミスキモノ」を選出する「京都きものオーディション」本選考会を開催する。一次予選を通過したファイナリスト20人に本選考会に向けての意気込みや抱負を聞いた。

## 午前の部【10人】

### ◆内田早紀さん（20歳学生）

今回、大好きなきものについて学ぶ機会を頂く事ができとても嬉しく思います。きものを引き立たせる事ができるような気品ある立ち居振る舞いを身につけ、きものの魅力をお伝えできるよう、日々精進して参りたいです。

### ◆小森舞さん（24歳学生）

本選考会までの研修で、自分の力で美しくきものを着られるようになり、名実共にミスキモノにふさわしい女性になりました。また、私は8K映像コンテンツの撮影での魅力を感じるようになります。この時の感動を多くの人に伝えることができます。この感動をできるよう、発信者としてのスキルも磨いていきたいです。

### ◆松盛千歌さん（21歳学生）

これから始まる研修会を通して、知性や気品を磨くだけでなく、私という人格がミスキモノになる意味や価値を確立できます。また、京都ミスキモノの応募を機に西陣織の勉強をした際、手織り職人の後継者不足などの問題があることを知りました。

私は京都の西陣で生まれ、機織りの音を聞きながら育つてまいりました。そして、京都ミスキモノの応募を機に西陣織の勉強をした際、手織り職人の後継者不足などの問題があることを知りました。

そこで私は、自分が生まれ育った西陣の伝統を次の世代に継承するためにも、西陣織きもの、そして京都について学び、本選考会に臨みたいと思います。

### ◆前原華さん（19歳学生）

研修会や本選考会に向けて、きものについての知識だけでなく、京都の魅力、女性らしい振る舞い方についても学ぶことで内面から美しく綺麗な女性になりたいと考えています。そして、きものや京都の魅力を十分に伝えられるよう日々努力していくと思います。

### ◆北尾有紀さん（20歳学生）

きものについての知識を深めることができます。また、私が話すところに感謝の気持ちを忘れず、私なりにきものや京都の魅力を発信していくよう精進して参りたいと思います。

### ◆池田穂乃香さん（21歳学生）

きものを身に纏うと、いつも背筋が伸び、身の引き締まる思いになります。このように、きものの魅力は着る人の気分を一瞬で変えてしまう素晴らしいもの。文化だと考えております。この魅力をたくさんの人々に伝えていけるなら、それが私の使命です。

### ◆森口遥加さん（27歳会社員）

これまでの研修会を通して、知性や気品を磨くだけでなく、私という人格がミスキモノになる意味や価値を確立できることを嬉しく思っています。研修会を通して、その素晴らしさを伝えられるよう、学び、また自身も美しい



### ◆益田舞さん（19歳学生）

私がきものに興味を持ったのは、母の成人式の写真に映ったきものがとても綺麗で、私もそれを受け継ぐのだと知った時です。

きものは、その人の美しさや思いを引き立たせてくれる素敵なものだと思います。研修会を通して、その素晴らしさを伝えられるよう、学び、また自身も美しい

## KYOTO KIMONO AUDITION

## 午前の部



中野晶さん 田添優依さん 三上瑠里さん 渡邊真子さん 瀬尾万珠実さん 吉田安柚美さん 松山鈴さん 北久保美結さん 田中希実さん 森真里萌さん

## ◆ 森真里萌さん（27歳会社員）

私は趣味で通い始めた着付けのお稽古がきっかけで、日本の文化やきものの美しさをたくさん的人に伝えたいと思うようになりました。同じく本選考会に挑む仲間とともに研修会で知識を深め、いただいた機会を楽しみたいと思います。

## ◆ 田中希実さん（29歳アルバイト）

きものは日本女性を一番美しく表現し、日本文化を代表するものだと私は思います。このようなきものについて、より深く知る機会を与えて頂けたことを感謝致します。この研修を通して普段よりきものを着る機会を増やし、きものをより身近に感じられたらと思います。

## ◆ 北久保美結さん（22歳公務員）

10年以上茶道をしており、お稽古やお茶会できものに触れるようになります。大好きなきものを着て本選考会に出場させていただけることを嬉しく、幸せに思います。自分自身がきものを着ることを楽しみながら、きものの魅力を伝えていけるよう精進して参ります。

## ◆ 松山 鈴さん（20歳学生）

幼い頃から習っていた日本舞踊。舞台に出させていただくたびに、唄の雰囲気によって様々な顔を見せてくれるきもののが好きになりました。「お江戸日本橋」は江戸紫に矢絣の衣装でさっぱりと、「千の剣」という現代歌謡風のお唄では、義経のように優しく煌びやかに白と銀を基調にした紗のきものを着装しました。私たちの美

## 午後の部【10人】

しい伝統文化を京都から発信できるお手伝いできたらと思っております。

## ◆ 吉田安柚美さん（20歳学生）

これから研修会で、きものについて学ぶのがとても楽しみです。頂いた機会、周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、内面外ともにきものの似合う女性になるよう精進して参ります。

## ◆ 渡邊真子さん（25歳会社員）

祖母が母の為に仕立てたきものを私が着る。きものがつなぐ歴史の一部になれたかのような体験は、私の胸をときめかせました。そして京都という土地は、きもの樂しむ気持ちを更に積極的にしてくれました。今度は私が、そんなきもののすばらしさを広める一員となるよう、本選考会へ向け精進してまいります。

## ◆ 渡邊真子さん（20歳学生）

私は、幼い頃からずっとときものが大好きです。祖母もきものが好きで、着る機会はたくさんありました。しかし、ほとんどの友人はきものを着たことがなく、ものときものの魅力を知つてもらいたいと思うようになりました。

そんな魅力をたくさんの方に共有できるよう本選考会に向けて精進致します。

## ◆ 三上瑠里さん（19歳学生）

私は、幼い頃から日本舞踊を続けていてきものを着ることや見ることが大好きです。きものは世代を超えて受け継ぐことができ、女性らしさをより引き立たせててくれます。このようなきものの魅力や生まれ育った京都の良さを伝えられるよう本選考会に向けて、精進して参ります。

## ◆ 田添優依さん（27歳会社員）

昔から多くの人に親しまれる大好きなきものと日本が誇る歴史ある京都、どちらも私にとって大切で、これからもずっと大事にしていきたいきものであります。きものと京都の美しさと魅力を、私の言葉でたくさんの人に伝えていくよう精進していきます。

## ◆ 中野晶さん（20歳学生）

きものは着付けやお手入れに大変な労力を要します。しかし、その分だけ着た人を美しく輝かせ、周りの人をも幸せな気持ちにさせてくれるものではないでしょうか。この度、このような素晴らしい機会をいただけたことに深く感謝し、きものについてより理解を深めようと身の引き締まる思いです。

